

## 議事 ①

### 平成31・令和元年度事業報告

#### 事業の成果

平成31・令和元年度の正会員数は 446 人、特別賛助会員数は 132 人、賛助会員数は 101 人でした。以下の方針に基づき事業を実施しました。

[平成31・令和元年度 事業 実施 の 方針]

“いつまでもきらりびと”

市民が安心して過ごせる地域社会を実現するために、利用する側の視点に立った総合的な地域福祉サービス活動を行い、もって住民の福祉及び保健の増進に寄与し、地域づくり、人づくりに努める。

#### 1 地域福祉サービス提供事業

##### ① 助け合い事業・移送サービス事業(福祉有償運送)

助け合い活動は 2, 095件、延べ 2, 295時間のサービス提供となりました。活動内容別件数の前年度比では、家事援助が 98. 6%、介助・介護・育児支援が 75. 8%、となりました。サービス提供者(協力者)の高齢化により実際に活動できる会員が減少しています。公的制度によるサービスの隙間を埋める「助け合い活動」の重要性は高く、本法人の中核的活動と捉えて、町民の皆様に参加いただけるよう活動を進めています。

移送サービス(福祉有償運送)の利用者は介護保険認定者及び障がい者等に限定されたサービスで、平成18年自家用旅客運送登録。利用目的は、通院、買い物、社会参加活動等、多様であり利用は定着しています。延べ4, 148件、25, 379kmの利用となり、件数で前年度比103. 2%となっています。6月27日吉川市のNPO たすけあい吉川の皆さんが、福祉有償運送事業の視察に来られました。

##### ② 認知症予防活動 (ふれあい共想法)

ふれあい共想法は、2010年NPO法人ほのぼの研究所と協定し進めてきましたが、開発者の大武美保子氏が、理化学研究所の認知行動支援技術チームのチームリーダーに着任されたことから、2018年 1月理化学研究所と共同研究契約を結びました。令和元年度は運営要員2名が新たに参加、3チームが活動し、認知症予防とふれあい社会づくりを目指しました。

##### ③ ふれあい活動

住みやすい地域を作るため「住民相互の交流を実現し、引きこもりを防止」する場を提供しようとする活動です。2007年に「きらり姫宮」にふれあいサロンを開設し地域への開放を行ってきましたが、その後町内展開へと拡大し、道仏集会所・須賀集会所・百間集会所及び姫宮集会所を会場に、理事が中心となり会員の協力を得て開設。会員ばかりではなく地域の皆さんにも参加を呼びかけ、交流と引きこもりの防止に寄与しています。2015年介護保険制度が見直され介護予防の観点から地域サロン作りが全国で進められ、宮代でも各地で始まっています。このことから、姫宮集会所は発展的閉鎖となりました。

##### ④ 評議員の活動

きらりびと通信の発行月に評議員会を開催し、会員の意見や要望を基にした協議を行い、運営に反映しています。次年度は定款に位置付け、その活動を会の重要活動とします。

##### ⑤ 「きらりびとみやしろ園上さん家」

元理事の園上氏から寄贈された宮東の家屋は、「きらり園上さん家」としてサロン活動が始まりました。ここの特色は、会員同士の交流と研さんの場として「歌声サロン」「健康マーじゃん」「そば道場」が活動しています。

## 2 意識啓発事業（研修事業）

### ① 一般公開企画

「新しいふれあい社会づくり懇談会」

2020年2月27日開催の「新しいふれあい社会づくり懇談会」は、図書館ホールにおいて草刈正雄主演の映画「体操しようよ」上映する予定でした。映画は定年退職後の地域参加を題材としたもので、難しいと言われている男性の地域社会参加を考えさせるもので、団塊世代の皆さんにご覧いただき、ふれあい社会づくり参加の懇談を盛り上げたいところでしたが、新型コロナウイルス感染緊急事態宣言のため急遽中止となりました。

### ② バザーの実施

「町民まつり」・「サンクスフェアー」に参加、「きらり姫宮そばまつり」を実施。活動の意義を広めると共に資金の確保に努めました。売り上げは町民まつり87,417円、サンクスフェアー12,340円、そばまつり28,450円は、NPO活動の原資と致します。

### ③ 広報活動

- (1) 「きらりびと通信」は年3回発行し、会員及び関係団体等へ配布しました。読みやすい紙面、わかりやすい表現を工夫し、複雑な介護保険制度の見直しや介護の話題、本法人の各種活動など多様な情報発信を図ってきました。
- (2) 「ホームページ」理事長のつぶやきコーナーは、きらり姫宮その他の日常の出来事をお知らせしています。
- (3) 8月23日東京新聞埼玉中央版に「2019彩の国選択」特集に「地域で支え合う社会を」が掲載され、2月20日インターネット情報「BABA lab」「場づくりlab」にきらり姫宮の紹介が載りました。

## 3 受託事業

### ① 福祉交流センター「陽だまりサロン」の運営

「陽だまりサロン」の指定管理者として、19年間の実績を元に事業の充実を図りました。2019年度は、子供たちの参加できる夏休み期間に「みー先生のおかしな世界」（腹話術とマジックショー）を開催、好評でした。

視察は、埼玉県毛呂山町から11人が笠原小学校に来訪、子供たちと高齢者さらに障がい者との交流に驚きの声がありました。毛呂山町はきらり姫宮も視察され、NPO活動の研修もされました。

本年度利用者は8,418人で、前年度9,062人、2月28日から新型コロナウイルス感染対策による休館となったため、対前年度利用率 92.9%になりました。

### ② 日本工業大学派遣事業

日本工業大学建築学部生活環境デザイン学科”自立介護を支援するための環境について学ぶ授業”として、2011年から介護実技指導を実施。学生53名に対しグループホームの職員2名を派遣。さらに、施設体験実習の実技受講生とケア空間体験実習生を、きらり姫宮に受け入れました。

### ③ ファミリーサポートセンターの運営

宮代町からの委託により2018年7月1日から開始しました。、育児の援助を受けたい者(利用会員)と育児の援助を行いたい者(提供会員)からなる会員制の組織として、宮代町ファミリーサポートセンターの運営を行いました。町民からの要望は大きく、3月末には利用会員56名・提供会員50名が入会しており、795回のサービスが行われました。前年度189回から大きく広がっています。

11月17日進修館小ホールにおいて、利用会員と提供会員の交流会を行いました。初めての交流会とあって多くの意見交換が行われました。

#### 4 介護保険法等による事業

高齢者や障がい者及び家族をより豊かに支えたいとの想いを大切に、NPOならではのきめ細かいサービス提供に努めました。介護保険報酬の減額改定が響き経営が厳しくなっています。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ① 居宅介護支援事業       | 延べ649件(前年度524件)     |
| ② 訪問介護事業         | 延べ520件(前年度419件)     |
| ③ 通所介護事業         | 延べ2,530名(前年度2,063名) |
| ④ 認知症対応型共同生活介護事業 | 延べ216名(前年度218名)     |

#### 5 子育て支援事業

子育て支援事業として、1歳から小学生までの一時保育事業「キッズルームきらり」は、登録者270名、年間利用者は延べ36名となっています。休日や時間外、障がい児の受入れなど公的サービスではまかなえないニーズにきめ細かく対応し、大変喜ばれています。

##### ① 町一時保育事業

本年度の実施は42件、保育を利用した方は延べ81名でした。宮代町役場・社協・新しい村・図書館と利用契約を結び実施しています。

##### ② 宮代町障がい児(者)生活サポート事業

在宅の心身障がい児(者)の地域生活を支援するため、一時預かり事業を宮代町に登録し、生活サポート事業を実施しました。令和元年度の利用は1名でした。

#### 6 お泊りデイ(宿泊サービス)事業

宮代町で初めての「お泊りデイサービス」を9月から開始しました。「デイサービス喜楽里」の利用者で宿泊希望の方に、介護保険外のサービスとなりますが、一泊夕食・朝食付き3,000円で利用できます。きらり姫宮の職員と一緒に過ごしますので安心です。延べ22名の方が66泊の利用がありました。

#### 8 その他の事業

「いきがい・助け合いサミットin大阪」に参加

高齢化が進む我が国で、これから必要とされた「助け合い・支え合い」の仕組みづくりを考える「いきがい・助け合いサミットin大阪」、54の分科会を揃え、3,500人が参加した大きな会議でした。きらりびとみやしろは、第8分科会「共生型常設型居場所をどう広げるか」で陽だまりサロンの話をしてきました。

「エクセレントNPO大賞」の全国15団体にノミネート

NPO法人数が増加するなかで、目指すべき非営利組織像が見えなくなり何が正しいのか分からなくなっています。非営利組織が正しさを目指して切磋琢磨する環境をつくろうと「エクセレントNPO大賞」が作られました。毎年15団体がノミネートされ、うち1団体が大賞(賞金80万円)に選ばれます。大賞は逃しましたが12月11日東京「毎日ホール」で開催された授賞式に参加しました。